

科目名	精神看護学特論 Theories of Psychiatric and Mental Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402) 前川 早苗 (広域分野) 奥野 史子 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	支持科目	選択 区分		領域 必修		単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
												遠隔授業	否
科目 目的	本科目は、現代の精神保健医療福祉の法律・制度・臨床サービスに関して我が国の現状と課題を整理し、諸外国との比較も踏まえながら、今後の展望を検討することを目的としている。また、精神的困難を抱えた人とその家族を理解するために用いられている基礎的理論を整理し、臨床看護における適応や使用方法について検討することも目的としている。												
到達 目標	1) 精神保健福祉の歴史の変遷や現代の課題を踏まえて、精神保健福祉制度・体制を深く理解することができる。 2) 精神的困難を抱えた人の理解と生活の評価に必要な基礎的理論について説明でき、臨床への応用について説明することができる。 3) 精神保健福祉制度の今後のあり方と精神的困難を抱えた人を理解する上での今後の課題を述べることができる。												
成績評価方法 (基準)	①講義に対する事前準備 (50%)、②講義におけるディスカッションへの参加 (50%)												
教科書	なし												
参考書等	随時紹介する												
受講者への メッセージ	我が国および世界の精神保健医療福祉を取り巻く状況は毎年のように大きく変化し、法律・制度・臨床サービスは絶えず変化し続けています。まずは、現状と課題を文献を用いて整理し、私たち看護職が今後どのように変化していく必要があるのかについて考えていきましょう。												
備考													
回	学習項目			学習内容							主担当 教員	授業 方法	
1回	オリエンテーション			・本講義の目的・目標の概説を理解する。 ・授業日程、学習課題の確認を行い、課題の分担を行う。							木戸 他	講義	
2回	我が国の精神保健医療福祉の歴史の変遷			・精神保健医療福祉の制度と体制の変遷、精神障害者の現状と国際比較について学ぶ。我が国の精神保健福祉と医療の現状と課題について、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
3回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ①精神科入院医療 (救急・急性期)			・精神科入院医療に関する現状と課題、法律・制度・サービスについて諸外国との比較を含め文献検討し、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
4回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ②精神科入院医療 (慢性期・重度慢性)			・精神科入院医療に関する現状と課題、法律・制度・サービスについて諸外国との比較を含め文献検討し、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
5回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ③地域・在宅精神保健医療福祉 (1)			・地域・在宅精神保健医療福祉に関する現状と課題、法律・制度・サービスについて、諸外国との比較を含め文献検討し、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
6回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ④地域・在宅精神保健医療福祉 (2)			・地域・在宅精神保健医療福祉に関する現状と課題、法律・制度・サービスについて、諸外国との比較を含め文献検討し、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
7回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ⑤認知症			・認知症ケアに関する現状と課題、法律・制度・サービスについて、諸外国との比較を含め文献検討し、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
8回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ⑤学校・職域メンタルヘルス			・学校・職域メンタルヘルスに関する現状と課題、法律・制度・サービスについて、諸外国との比較を含め文献検討し、今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
9回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ⑥災害メンタルヘルス			・災害メンタルヘルスに関する現状と課題、法律・制度について文献検討し、被災地における活動の実際を踏まえながら、今後の展望について討議する。							木戸 他	講義	
10回	我が国の精神保健医療福祉の現状と課題 ⑦まとめ			・我が国の精神保健医療福祉に関する現状と課題について包括的にまとめ、現在及び将来的に必要とされる施策や医療・看護について考察する。							木戸 他	講義	
11回	精神看護学の基盤理論 ①セルフケアモデル			・オレム・アンダーウツのセルフケア理論を中心に、セルフケアをアセスメントするための手法 (アセスメントツール、評価尺度) について文献検討し、臨床への適用について考察する。							木戸 他	講義	
12回	精神看護学の基盤理論 ②バイオ・サイコ・ソーシャルモデル			・バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて文献検討し、臨床におけるアセスメント方法や適用について考察する。							木戸 他	講義	
13回	精神看護学の基盤理論 ③リカバリー、ストレングスモデル、エンパワメント			・リカバリー、ストレングス、エンパワメントについて理解し、これらをアセスメントするための手法 (アセスメントツール、評価尺度) について文献検討し、臨床への適用について考察する。							木戸 他	講義	
14回	精神看護学の基盤理論 ④看護記録			・現在または過去に用いられてきた精神科臨床における看護記録様式の特徴を、諸外国との比較を含め文献検討し、臨床への適用や今後の展望を討議する。							木戸 他	講義	
15回	まとめ			・科目を通した学びを発表し到達目標に対する自己評価を行う。 ・今後の自らの課題について討議する。							木戸 他	講義	